

長く働ける環境へ

保育事業
運営会社 現場主導で議論展開

保育事業を展開するヒューマンスターチャイルド(株)(横浜市神奈川区、川下裕左代表取締役社長、正社員170人)は、長くいきいきと働ける環境について、各園の保育

検討している。

11月にスタートした同プロジェクトは、2カ月に1度のペースで開催するもの。立候補した1〜2人の若手保育士の総勢約20人が本社に集まり、一般的に平均勤続年数が他産業に比べて短い同業種のなかでも、長期的に働けるようにするにはどうしたら良いかなどについて話し合った。

初回は、「園内での情報共有やコミュニケーションシ

ョンの取り方に関して意見を交わすシーンが多かった」と同社広報担当者。話題は「夕方や雨の日などはどう遊ぶか」に及んだ。

「社内であっても他園でどういった保育をしているのか分からないケースもある」といい、保育の質向上をめざす。

次回1月は、園内の人間関係や後輩への指導に

士が議論する現場主導型活動である「働き方向上プロジェクト」を開始した。保育の質向上もめざす。一定の結論が出た内容は提言としてまとめ、全社で制度化することも